

石

山に青い

通る道に石屋がある、古い地面に大小さま

ざまの石が置いてある、もともと庭石、 雑

と置いてあって、これはある石は奇峰の如く雄偉な、

ある石は臥中の如く横たはって、みて面白い。

また、^{（乙）}倉庫のやうなものがある、前で職人

が石にグラインダーをかけて、凹凸を大きくし

たり、深くしたり、表面を滑らかにしたり、光

澤をあげたりして、大小手持の電氣がう

インダーを使っての仕事、ここは石屋の工場

だ。

長い歲月の谷川の氷に磨く、^{（オ）}減らさん、磨か

れた自然石にあまたのうず、かゝして巧みな石

が造られて、あるのだ。一つ、何万回、何十

万回とすりだす、宝石と変わるはない、ただ

路傍に置いて、誰も盗んで行かない。

この同友人が突然、とうとうに石燈籠を積ん

で、も、て来た、庭のどくかに置いてくれとい